

年度モニタリング
(平成 28 年度)

施設名称	佐倉市ヤングプラザ
施設概要	<p>所在地：〒285-0014 千葉県佐倉市栄町 8-7</p> <p>施設構造：鉄骨鉄筋コンクリート造、地上 2 階建</p> <p>敷地面積：725.23 m²</p> <p>延床面積：809.73 m²</p> <p>建築年月：昭和 46 年 9 月</p> <p>施設内容：1 階：コミュニティサロン、(公社)佐倉市観光協会</p> <p style="padding-left: 2em;">2 階：事務室、多目的室、ブラウジングサロン、プレイルーム、AV ルーム</p> <p style="padding-left: 2em;">教育電話相談室</p> <p>附帯設備：駐車場 (4 台収容)</p> <p style="padding-left: 2em;">※1 階の一部を (公社)佐倉市観光協会使用</p>
施設の設置目的	<p>青少年が自由に集い、活動する中で、青少年の自らの力を発揮できる場の提供を図ると共に、日ごろの青少年の悩みや心配ごとを相談できる機能を備えた総合的青少年施設として、青少年の健全育成のための環境づくりを行い、青少年活動の活性化と社会参加を促進することを目的としています。</p>
指定管理者	シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社
指定期間	平成 27 年 4 月 1 日～平成 32 年 3 月 31 日
委託料	<p>5 年間総額 105,000,000 円</p> <p>年間 21,000,000 円</p>
市所管課	健康こども部児童青少年課

①業務点検

評 価	説 明
S（優良）	適格に実施され、特に優れた成果が認められる。
A（適格）	適格に実施されている。
B（概ね適格）	適格に実施されているが、改善の余地がある。
C（要改善）	適格に実施されておらず、ただちに改善する必要がある。
－（該当なし）	該当する事例がない。または、評価することができない。

区 分	評価項目	評価欄	
		指	市
I 業務に関する基準			
1 基本事項			
開所時間	開所時間が厳守され、速やかに業務が開始されているか。	A	A
管理範囲	管理範囲が厳守され、利用者を妨げることはないか。	A	A
利用制限	正当な理由なく利用者の利用を制限していないか。	A	A
適正利用	利用・減免等の手続は規定ののっとり正規に行われているか。	A	A
利用料金	利用料金の減免の基準、範囲・件数は適正か。	A	A
法令遵守	関連規定を理解し、法令遵守が確保されているか。	A	A
2 維持管理業務に関する基準			
清 掃	屋内・屋外ともに美観が維持されているか。	A	A
	清掃は利用者の妨げにならない時間帯に行っているか。	A	A
	定期清掃は規定の回数・基準を達成しているか。	A	A
廃棄物処 理	適正な方法（分別等）と頻度により廃棄されているか。	A	A
	廃棄物の減量に努めているか。	A	A
環境衛生	必要な検査等は規定の回数・基準を達成しているか。	A	A
	快適に利用できる環境となっているか。	A	A
公共料金支 払	公共料金は滞りなく支払われているか。	A	A
景観維持	屋外の景観が維持されているか。	A	A
備品管理	備品管理台帳が整備され、適切に記録されているか。	A	A
	利用に支障をきたす状態のまま放置されていないか。	A	A
修 繕	適切に修繕を行うとともに、市への報告を行っているか。	A	A
	利用に支障をきたす状態のまま放置されていないか。	A	A
	消耗品の補充・管理は適正に行われているか。	A	A
警 備	入退者管理、施錠管理、巡視等は適切に行われているか。	A	A
	夜間・休所日警備に支障はないか。	A	A
保守点検	法定点検その他定期点検を遅延なく確実に実施しているか。	A	A

	点検によって発見された不具合の報告を適切に行っているか。	A	A
安全点検	施設内・施設外に危険箇所はないか。	A	A
	避難経路や消防設備の付近に障害物はないか。	A	A
駐車場	設備の損傷や危険物、違法駐車はないか。	A	A
	事故・盗難等の発生について市への報告を怠っていないか。	A	A
3 施設運營業務に関する基準			
利用手続	使用許可や利用料金徴収の手続きは適正に行われ、迅速かつ円滑か。	A	A
利用料金 徴収	出納簿等は整備されているか。	A	A
	現金は必要最小限とし、盗難・紛失等のないよう管理されているか。	A	A
	利用料金の額、支払方法、減免基準等について、周知は十分か。	A	A
物品販売 等許可	物品販売、寄付の募集、広告物の掲示・配布等の許可が適切に行われ、利用者の妨げとなっていないか。	A	A
記録業務	日報や各種記録（文書・画像・音声・映像等）を行い、整理しているか。	A	A
広報活動	利用者への掲示物・案内等はわかりやすく用意されているか。	A	A
	各種広報活動により利用者への周知が図られているか。	A	A
	パンフレット・チラシ等の在庫切れはないか。	A	A
	Web サイトは利用しやすく、適宜更新されているか。	A	A
意見等 受付	意見・要望・苦情等の受付手段及び機会は適切か。	A	A
	受け付けた意見・要望・苦情等を記録し、改善に努めているか。	A	A
相談業務	相談内容及び個人情報の保護は徹底されているか。	A	A
	相談事業の利用方法について周知は十分か。	A	A
企画事業	事前に計画書を文書で市に提出し、承諾を得た上で実施し、実施後適切に報告を行っているか。	A	A
	企画事業の内容、実施回数、参加費の額は適切か。	A	A
留意事項	拾得物台帳を作成し、拾得物を所轄の警察署に届けているか。	A	A
	管理運営の実施等に関する市の調査に協力しているか。	A	A
4 経理事項に関する基準			
財務処理	財務事務処理規程が定められ、遵守されているか。	A	A
区分会計	区分会計により独立した帳簿及び預金口座で管理しているか。	A	A
帳簿管理	帳簿書類等は適切に保存されているか。	A	A
5 独自事業に関する基準			
事業計画	独自事業の実施にあたり、事前に計画書を市へ提出しているか。	A	A
6 目的外業務に関する基準			
行政財産 使用許可	目的外業務（公衆電話設置等）の実施にあたり、行政財産使用許可申請を行っているか。	—	—
	目的外業務の実施による利用者への妨げはないか。	—	—
II 運営体制・組織に関する基準			

1 基本事項			
労務責任	業務従事者の労務に関し法令が遵守され、責任ある体制となっているか。	A	A
	業務従事者から労務に関する苦情等は出ていないか。	A	A
	労働時間の管理は適切になされているか。	A	A
資格・免許	必要資格及び免許等が取得されているか。	A	A
許認可等	必要な許認可及び届出等が行われているか。	A	A
2 実施体制に関する基準			
人員配置	業務主任担当者及びスタッフの人員配置は適切か。	A	A
研修等	必要な訓練・教育・研修等が計画的に実施されているか。	A	A
連絡体制	指定管理者の団体本部との連絡体制は整備されているか。	A	A
接 遇	職員（スタッフ）は名札及び清潔な服装を着用しているか。	A	A
	職員（スタッフ）のあいさつが徹底され、親切・丁寧な対応がなされているか。	A	A
3 一部業務委託（再委託）に関する基準			
委託範囲	再委託の範囲及び委託先の選定は適切か。	A	A
報 告	再委託の計画及び契約書等について市へ提出しているか。	A	A
履行確認	再委託業務の履行確認は適切に行われているか。	A	A
4 運営協力体制に関する基準			
協力体制	関係機関、団体、住民等と十分な連携が図られているか。	A	A
5 安全管理・危機管理に関する基準			
平常時	保守点検、巡視等は適切に行われているか。	A	A
体制整備	危機管理計画及び危機管理マニュアル等は整備されているか。	A	A
	非常時の連絡体制は確立されているか。	A	A
事故災害対応	事故・災害等発生時は市へ直ちに報告され、適切に対処したか。	—	—
損害賠償	第三者への損害賠償は適切に行われているか。	—	—
保険加入	必要な保険に加入し、その範囲は適正か。	A	A
6 個人情報保護・情報公開・情報管理に関する基準			
守秘義務	業務上知り得た秘密を他人に漏らしていないか。	A	A
個人情報保護	個人情報保護条例に基づき、適切に処理されているか。	A	A
情報公開	情報公開条例に基づき、適切に処理されているか。	—	—
	総合的かつ積極的な情報公開の推進が図られているか。	A	A
情報管理	情報管理計画及び情報管理マニュアル等は整備されているか。	A	A
	情報セキュリティ（コンピュータウイルス対策等）は万全か。	A	A
7 事業計画及び事業報告に関する基準			
書類提出	事業計画及び事業報告は規定どおりに提出されているか。	A	A

	事業計画及び事業報告の内容に虚偽及び重大な誤りはないか。	A	A
8 連絡調整に関する基準			
連絡会議	市との連絡会議を適宜行い、十分な調整は図られているか。	A	A

【意見記述欄】 業務点検			
指定管理者	維持管理においては、昨年に引き続き毎日の清掃業務は、専属の清掃職員によって行い定期清掃は、利用者の妨げにならないよう配慮し閉館後に行い快適に過ごしてもらえるように努めました。		
市	・維持管理業務は、利用者に配慮した時間帯に行うことや、細かい部分にまで清掃を行うことにより、利便性の向上や、魅力的な施設となるよう努められています。		

②利用状況等分析

	前年度 実績値	今年度 計画値	今年度 実績値	対前年度比 (%)	対計画値比 (%)
開所日数	360	359	359	99.7	100
利用者数(人)	40,765	40,800	40,381	99.0	98.9
1日当たりの 利用者数(人)	113	115	113	99.1	98.2
スタジオ利用組数	1,336	—	1,478	110.6	—
スタジオ利用者数	3,397	—	3,673	108.1	—
事業数	117	144	144	123.0	100
事業参加者数	2,493	—	3,201	128.3	—

【意見記述欄】 利用状況等分析

指定管理者	<p>今年度利用者数は、前年度比99%と横ばいとなりましたが、スタジオの稼働については、スタッフ全員が空きゼロを目標に声かけをしてきました。その結果、276人増の利用者となりました。</p> <p>事業数においても、144回と昨年より27回増となり、参加者も昨年より708人増となり、多くの方にイベントを楽しんで貰うことができました。</p>
市	<ul style="list-style-type: none"> ・事業数を昨年よりも増やすことで、施設利用者の増加や、施設のPRにも役立っています。 ・若者に魅力ある事業展開の工夫や取り組みを期待します。

③経営分析

経営分析指標	前年度 実績値	今年度 計画値	今年度 実績値	対前年度比 (%)	対計画値比 (%)
収入（円）	21,526,400	21,610,000	21,538,590	100.1	99.7
支出（円）	20,558,664	21,606,300	19,108,157	92.9	88.4
収支（円） 〈収入－支出〉	997,736	3,700	2,430,433	243.6	65687.4
利用料金比率（%） 〈利用料金収入／収入〉	0.25	0.47	0.32	—	—
人件費比率（%） 〈人件費／支出〉	62.9	68.73	71.19	—	—
再委託費比率（%） 〈再委託費合計／支出〉	10.7	9.19	10.4	—	—
利用者当たり管理コスト（円） （支出／延べ利用者数）	504	524	474	94.0	90.5
利用者当たり市負担コスト（円） （委託料／延べ利用者数）	515	509	520	101	102.2

【意見記述欄】経営分析	
指定管理者	<ul style="list-style-type: none"> ・人件比率が、昨年に比べ8.2%増えましたが、今年度はイベントを昨年度より27回増の144回行ったことでスタッフの増員になりました。 ・利用者あたりの管理コストは、前年度より30円減少することが出来ました。
市	<ul style="list-style-type: none"> ・支出を抑える取組みにより、かなりの削減が達成できたと思います。今後は、新たな事業の展開、魅力ある施設の充実に努めることで利用者の増加を図ってください。

④業務実施状況確認

【単年度計画】

事業計画・目標	実施状況・効果
イベントの参加人数増加を図ります。	昨年に続き、夏休みにバスを使用したイベントに合計 62 名の申し込みがあり、バス遠足を楽しみました。又、秋祭りにはヤングプラ喫茶を行い、新規の利用者の獲得につなげました。
幼児の来館者の増加を図ります。	乳幼児向けのイベントを開催し、子育ての悩みを解決したり、保護者同士で気軽に相談できる環境作りを心がけました。
卓球やスタジオの新規の利用者拡大を図ります。	卓球室外側に大きな張り紙を掲示し、ヤングプラザの周知を図り、利用者拡大につなかりました。
スタジオをより快適に利用してもらいます。	スタジオの設備を見直し、備品等を新しく購入しました。利用時間も見直し、1 日の利用者を増やす工夫をしました。

【中・長期計画】

事業計画・目標	実施状況・効果
子どもたちの科学離れの対策として、科学のイベントを開催します。	昨年に引き続き科学のイベント毎月を開催しました。親子を対象にした半田付けのイベントを開催し、電子工作を楽しんでもらいました。
高校生の来館を増やします。	ヤングライブでは新たに新しい学校の実行委員を増やした結果他校との交流が生まれ、様々なバンドの演奏を披露しあったり、OB バンドにも出演してもらい更に盛り上がる事ができました。
昔遊びのイベントを積極的に開催します。	けん玉遊びでは、幅広い年齢層が集まり、大きな盛り上がりを見せました。また、コマ作りやカルタ、巨大だるま落としのイベントも開催し昔ながらの遊びを楽しみました。

[意見記述欄] 業務実施状況確認

指定管理者	<ul style="list-style-type: none">・単年度計画に関しては、新規の利用者が増え計画や目標に沿った運営ができました。・中長期計画に関しては、小学生の科学離れの問題に対して、イベントを開催することにより科学の楽しさを子ども達に伝えることが出来ました。高校生に関してはさまざまな学校の実行委員が集まり、会議では多くの意見が取り上げられました。ライブは毎回課題が出ますが、問題に対して実行委員全員で解決していきました。
市	<ul style="list-style-type: none">・様々な世代をターゲットにした事業展開を実施し、利用者増加につながっています。今後は、世代間交流を促す事業の展開にも期待します。・高校生の運営については定着していますので、今後とも高校生主体の事業展開を期待します。

⑤利用者満足度調査報告

実施方法等	自記式調査
回答数等	小学生、中学生、高校生、一般 各 30 名
実施結果	全体的に「満足」「ある程度満足」の割合が高く、小学生は多くのイベントに参加し、遊び場として利用していること。中学生は友達との待ち合わせ場所や卓球を目的に利用し、高校生は他校との交流の場となっていることがわかった。保護者からは様々なおもちゃが楽しめ子どもが喜んでいるとの意見が挙がった。一方、備品等の改善点が多く挙がり見直しを行った。より快適な施設になる為にも来館者の意見にしっかりと対応していく。

回答者の意見等	対応策等
卓球のネットが古い。	ネットがたるみやすくなっており、しっかりと張れるネットに取り替えました。
卓球室が汚い。	清掃は午前中に行っていたため、清掃が行き届いていない時間帯がありました。巡回時に卓球室を確認し汚れている場合には清掃を行います。
ピアノのペダルがない。	ペダルを購入し、清潔に使えるよう定期的にピアノの清掃を行いました。
BGM の音が大きい。	読書や勉強の妨げにならないよう 1 階の音量を下げました。

【意見記述欄】利用者満足度調査報告	
指定管理者	・年間 2 回のアンケートから、利用者が求めているもの今後の課題や改善点を把握することができました。この調査で得た情報から、事業計画をはじめ、利用者のニーズに合わせた運営を心がけ、さらなる利用者満足度の向上を図ることができました。
市	・アンケートの結果により利用者の求める事業や運営を期待します。 ・アンケートは継続して実施することで、利用者のニーズに対応した施設運営を期待します。

⑥総合評価

[意見記述欄] 総合評価（平成 28 年度）	
指定管理者	<p>利用者の視点に立ち、常にニーズに即した施設運営を心がけてきました。また、地域の安全、安心できる場所作りをめざし、スタッフ全員がいつも情報を共有し運営に努めました。</p> <p>午前中の運営については、小さな子どもを持つ地域の方に、親子の触れ合いの場所、ママ友づくりの場所として提供し、利用者の拡大と共に地域に貢献できました。</p> <p>午後の利用については、小学生から高校生の放課後の居場所、交流の場として提供ができました。</p> <p>特に高校生においては、高校生実行委員をつくり、高校生が主体となってヤンプライブを行うことで、地域に高校生の活動をアピールすると共に理解して貰っています。また、学校間交流の促進にも繋がっています。</p>
市	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の目線に立ち、適正な施設運営がなされています。市への相談や報告も随時行われています。 ・今後も若者のための施設運営に尽力してください。